

電線の地中化により照明等の整理統合、植栽帯、歩道の整備を行う。わが国初のキャブシステム実施にあわせ歩道のデザイン、植栽に工夫。



国道六号沿いの馬喰町商店街は、都心から一・五キロに位置する繊維・雑貨を中心とした全国有数の問屋街で、従来から街の活性化の重要事業の一つとして、電線類の地中化の要望がなされていた。

馬喰町のキャブシステムは、わが国では初めての施工であり、総延長は八三四メートルであり、電線類の地中化に合わせ、歩道のカラー舗装化を行うとともに、植栽は中木を基本とし、すっきりとした見通しのよい街並みに整

備した。

また、植樹帯は樹木の保護と美観を考慮してレンガ構造とするとともに、電柱撤去にあわせ、既設の照明柱、信号柱、標識柱を整理統合して複合ポールに共架し、デザインも美装化した。これらの整備により、街並みが一新し、街の活性化、さらには国際化が図られ、全国的に脚光を浴びる街となった。

データボード⑦〇

- ① 東京都中央区日本橋馬喰町1丁目
- ② 中央区役所 ☎03-543-0211
- ③ 延長834m
- ④ カラー平板舗装

